

# みなと区議会だより

No.179 2009年(平成21年)11月11日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話 (3578) 2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>



▲芝地区総合防災訓練(10月4日)

## 平成20年度一般会計ほか各会計決算を認定

新型インフルエンザの予防接種費用(優先接種対象者)の全額を区独自に助成するための補正予算を可決

平成21年第3回定例会は、9月16日から10月9日までの24日間にわたって開会されました。

はじめに、10人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

質問は「平和事業について」、「特別区制度及び都区財政調整制度について」、「総選挙での国民の審判は明らか 住民本位の区政に転換を」、「政権交代の影響と区の取組みについて」、「総選挙結果と政権交代、区長はこれからの日本社会をどう考えるか?」など区政全般にわたりました。

平成20年度の一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、後期高齢者医療会計及び介護保険会計の各決算は、全議員による特別委員会を設置して審査し、いずれも賛成多数で認定しました。

そのほか、区長から提出された案件を審議した結果、条例改正・補正予算など12件を原案どおり可決しました。

みなさんから提出された請願は、4件を採択、11件を継続審査としました。

議員提出による案件は、意見書2件を可決し関係機関へ送付、3件を継続審査としました。

また、追加提出された平成21年度港区一般会計補正予算(第4号)についても原案どおり可決しました。

目次	
表紙・概要	1
代表・一般質問	2~4
請願・意見書 委員会の活動	5
決算特別委員会	6・7
審議結果	8

平成21年 第3回定例会 会議日程	
9月16日	運営委員会・本会議 会期決定 諸報告 代表・一般質問4名
17日	運営委員会・本会議 代表・一般質問6名 議案等付託 決算特別委員会の設置
18・24日	4 常任委員会 議案等の審査
25日	3 常任委員会 議案等の審査
9月29・30日及び 10月1・2・5・6・8日	決算特別委員会 決算5案の審査
10月9日	運営委員会・4 常任・ 4 特別委員会・本会 議 委員長報告・中間報 告 議案等の議決

# 代表・一般質問

(要旨)

9月

16・17日

## 平和事業について

### 自民党議員団



▲区立芝公園の「平和の灯」

**質問** 戦争体験者の高齢化や太平洋戦争自体を知らない世代が人口の大半を占める状況であり、戦争の記憶を風化させないためにも、戦争の悲惨さの記録を残す事業をさらに進めて欲しい。本年4月にはオバマ大統領が恒久平和に対する演説をした。芝公園には全国の小・中学校の児童生徒の基金によってできた「子ども平和塔」があり、毎年「子ども平和まつり」を開催している。区立芝公園には「平和の灯」があり、世界平和に対する区内拠点となっている。区長の世界の恒久平和に対する考えと公立学校での平和に対する取り組みは、

**答弁** 戦争の惨禍と平和の尊さを継承していかなければならない。区では港区平和都市宣言に示す核兵器の廃絶と世界の恒久平和を指し、核実験に対する抗議、「平和の灯」の設置、平和展の実施など平和事業を実施。今後、港区平和都市宣言の理念に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を強く訴え行動していく。区立学校での取り組みは「第55回子ども平和まつり」の開催、区立幼稚園・小中学校が青少年赤十字に加盟するなど平和への願いをこめ、教育活動を展開。児童生徒が平和の尊さや命の大切さの自覚を深められるよう平和教育の推進に努める。

## 景気後退期における区の財政運営について

**質問** 今後の区の財政状況が不透明な中、基本計画事業を着実に推進し数々の新たな課題解決にも積極的に取り組むために、財源を効果的に重点配分し、メリハリある財政運営を行うべきだが、景気悪化の中、どのような姿勢で区の財政運営を行うのか。

**答弁** 全ての事務事業について必要性・効果性・効率性の観点から徹底した見直しを行うなど簡素で効率的な区政運営に努めることで将来に過度な負担を残さない磐石な財政基盤を維持する。

**地球温暖化対策と港区の役割について**

**質問** ①あきる野市における区の取組みと今後の間伐材の活用について。②エコプラザで開催さ

れた「みなと森と水サミット」で採択された宣言の趣旨の役割を区はどのように果たしていくのか。③森林再生における山間部と都市部の連携について。

**答弁** ①みなと区民の森周辺の自然環境を活用し、地元特産品の収穫体験を通じた地元農家との交流事業など環境学習事業の充実を努める。間伐材の活用については森林地域を抱える自治体と連携し、国産材を区有施設に活用していく。②今後「みなと森と水ネットワーク会議」を開催し、都市部における低炭素社会の実現に向け、山間部の自治体と連携した間伐材を含む国産材の利用促進の方策を検討していく。また、田町駅東口北地区公共施設建設には「みなと森と水サミット」参加市町村の協力を得て、内装材等に国産材を積極的に活用。③区内で行われる開発事業等に対し、一定量以上の国産材の活用を誘導し、木材使用量に見合った二酸化炭素量をカーボンストッククレジットとして認証する「みなとモデル森林整備促進事業」を計画。これにより森林整備を促進し森林のCO2吸収効率を拡大する。

**高齢者への支援について**

**質問** ①団塊の世代が後期高齢者となる15年後を見据え、これからの高齢者の「住まい」についてさまざまな見地からさらに検討を進めるべき。②福祉会館・健康福祉館の新名称を公募し、利用促進が期待できる親しみあふれる名称を検討していると聞か

**選考状況は。③新しい名称とともに、区内全域で17ある福祉会館や健康福祉館がさらに地域の特色を生かし、地域に開かれた魅力ある施設になることが必要と考えるが、区長の所見は。**

**答弁** ①高齢に伴う生活不安を抱える高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう多様な住まいを確保する必要がある。平成22年3月開設に向け、特別養護老人ホーム等の整備を進めている。さらに、介護度が進んでも在宅で住み続けることができることから「住まい」についても総合的に検討する。②名称公募には68件の応募あり。選考は「福祉会館等の在り方検討会」の公募区民に参加してもらっており、名称を決定次第、区民へ周知する。③開館日・時間の拡大や土日・夜間の事業実施、団塊の世代などの多様なニーズに応じた事業展開、地域包括支援センターと連携した介護予防の充実など早急に検討を進め、地区ごとの特色を生かし、地域に開かれた魅力ある施設を実現する。

**エコ通勤について**

**質問** 現時点でのレンタサイクルやエコ通勤について、国の取組みの進捗状況と区の考え方は。

**答弁** 国は「エコ通勤」運動を推進。環境省は「エコ通勤社会実験、国土交通省は「エコ通勤優良事業所認定制度」を創設。エコ通勤の取組み事例の周知・普及を図っている。区は、2020年度に1990年度比で25%の二酸化炭素排出削減目標を掲げ地球温暖化対策を推進。エコドライブや低公害車への転換に向けた普及啓発に努め、公共交通機関を利用促進する。品川駅港南口の自転車レーンの社会実験を活用しレンタサイクルのソフト

**下対策の調査研究を進めていく。学校校舎における木材の活用について**

**質問** 構造材として価値が見直されている木材は、木の持つ暖かい質感が教育環境をつくるのにふさわしいものであることは言うまでもなく、木造の維持管理を通じ、物を大切にすることを育む教育効果もある。木質系の部材を建設に当たって考慮して欲しい。

**答弁** 区は校舎の内装に木材を使用することで温もりある教育環境づくりを進めている。今後の改築にあたって子どもたちにとり良好な環境に配慮した学びの空間を提供するために、木質系の材料を使用していくことを、基本計画の段階から検討する。

**情報システムについて**

**質問** 今後の港区行政活動の可能性や、方向性が位置づけられる大切な転換期という観点から、新しいシステム導入にあたって、新規関係事業者や庁内の各所管での綿密な情報交換はきちんとしていくのか。システムのオープン化を図ったことによる新たなセキュリティ管理の重要性も懸念されるが。

**答弁** 整備には進捗会議等を定期開催し情報共有を図っている。港区情報安全対策指針に基づき、ウイルス対策ソフトの定期的更新、データの暗号化等セキュリティ対策を実施することにより、個人情報や情報資産を安全に保護していく。今後の展開として、各システムを有機的に連携させ、ワンストップサービスの実現を図るなど、更なる区民サービス向上に向け、次期行政情報システムの推進に取り組んでいく。

**ICカード等の活用と一元電子化について**

**質問** ICカードを活用する画期的で有効な提案が出されることがあるが、導入は大規模な初期投資が必要であり、各所管が支出できるような金額ではない。議論される事はあっても、実現するまでに至ることがない。近年はポイントカードなどが氾濫し、全てのカードを常時持ち歩くことが難しい。また、興味はあるものの持ち歩かないカードも出て、結局その活動や事業に参加しなくなることも多い。一枚のICカードにより一元電子化する可能性も考えられる。規模、ニーズそして価値の拡大を図ることにより、各所管活動の相互性、区民の利便性を追求し、常時カードを携帯する利用者を増やせば、行政活動のさらなる普及につながるのでは。

**答弁** 電子自治体推進施策の一つにICカードの活用を掲げている。区発行のカードをICカードとして一元化することについて効果や課題を整理し検討する。

**まちづくりにおけるルールの確立について**

**質問** 今回の景観計画では、建物の高さを周辺の街並みと調和するよう誘導するにとどまり、高さを規制できる内容にはなっていないのが実態。良好な景観づくりは景観計画だけでは難しく、高さ制限や環境への配慮などを一体的に取り組んでいくことが大切。今後の港区のまちづくりにおける用途地域や高さ制限等のルールづくりは重要。様々な意見がある中で、用途地域や高さ制限指定にあたっての終着地設定はともな難しいと思われるが、区はどのようなスタンスでこれを遂行しようとしているのか。

**答弁** 地域の特性にあった土地利用を誘導する必要があるため土地利用の動向を調査し「港区ま

ちづくりマスタープラン」を踏まえ、土地利用の方針を明確にしていく。特に高さ制限は他区の高さ制限の運用状況の調査や既存建築物の実態調査などの結果を踏まえ、区民の意向を把握し、区にふさわしい高さ制限のあり方を検討。

**都会のニーズにあった子育て支援サービスの充実について**

**質問** 育児に疲れたり悩んだりしている親たちに、気分転換や情報交換ができる施設として、また、母親だけでなく、父親にも積極的に入りやすい雰囲気づくりを工夫したり、ひとり親同士が交流する機会を促進したりなど、これからの未来をなうお子さんをお持ちの方々を最大限に応援する。多くの核家族化した家庭になるべくきめの細かい対応ができるよう、従来の働く家族を対象とした保育施設だけでなく、住宅などで育児に疲れた家族をサポートするための保育施設も展開し、子育てひろばは、今後15施設へと拡大される。新たに拡大していくにあたって、課題と方向性は。

**答弁** 地域ごとに身近な場所で気軽に利用できる子育てひろばを整備していく。整備にあたっては、必要に応じて、一時預かり事業等を実施し、子育て支援の拠点となるよう事業拡大する。

**小中一貫校を始めるにあたっての港区の教育事情と新しい試みについて**

**質問** 港区の土地が、私立学校への進学を望む家庭は多く、区立中学校への進学率は他と比べて低い。生徒数が少なくなったことにより良好な環境の維持が難しくなった区立学校が出ていく。魅力のある学校は明確な特徴づけによる。区民が求めるレ

ベルやクオリティに対応しているのか。小中一貫教育という新しい試みを始めるとこれからの特徴づけについてはどのように考えているのか。

答弁 小中一貫教育は小中学校の連携の強化と教育課程の連続性の確保により、弾力的な教育活動をを行い、子どもたちのさらなる学力向上や心身ともに豊かな

### 特別区制度及び都区財政調整制度について

#### フォーラム民主

質問 衆院選を通じて地方分権への期待が高まっているが、①特別区における地方分権の在り方について。②都区財政調整制度について。区長の考えは。

答弁 ①「都区のあり方検討委員会」で、特別区の自治権拡充について議論されており、今後も積極的に取り組む。②都区財政調整制度の抜本的な見直しを含めて同委員会と協議して行く。

#### 国際化の推進について

質問 人材募集、職員の活用や育成、専門部署の整備等は。

答弁 総合支所の窓口等に語学にたけた人材を配置、「英語を使った接遇研修」を実施している。専門部署の執行体制は国際化施策の進捗等を踏まえ検討する。

#### 緊急時の広報の在り方について

質問 新型インフルエンザ流行時、紙ベースによる広報が十分でなく、情報を受け取る側の人々の気持ちになるべきでは。

答弁 総合支所等各施設窓口でチラシを配布、広報みなと臨時号

成長を目指すものである。発展的な学習や補充的な学習をより効果的に行うことができるため、学力向上を図ることができると。小中合同部活動、9年間を見通した生活指導等も魅力。いじめ、不登校などの未然防止や解消にも寄与することができ、これらの取組みを通し港区ならではの小中一貫教育を行っていく。

麻布小学校の児童の絵を随時掲示。「落とす落書きから楽しく描く落書き」の推進は、区民や諸機関の意向を踏まえ対応する。

#### 麻薬対策について

質問 区内で有名芸能人逮捕の二ユースが相次いでいるが、薬物乱用防止等の対策、学校教育現場での取組みは。

答弁 安全安心メール「子ども健康読本」等で、薬物に関する正しい知識周知と乱用防止に努め、各学校で警察関係者や医師、薬剤師を招き麻薬乱用防止教室を実施し、薬物に近づかず、誘われても断る強い意志をもつ児童生徒の育成を全力で進める。

#### 自殺対策について

質問 自殺対策基本法施行以来の区の取組み、国や都と連携については。

答弁 自殺対策の一つとして、10月をうつ支援月間と定め、各種の情報発信や講演会を通じ、PR活動を強化している。健康相談や消費者相談などを通じ、適切な情報提供や支援ができるよう総合的な自殺対策を進める。

#### ものづくり等産業振興について

質問 新たな産業振興プラン及び子供達にもものづくりへの理解を深めさせることについては。

答弁 新たな産業振興プランに新技術開発による製品の高付加価値化支援事業など43事業を計上、販路拡大支援の取組みを進める。伝統的な緻密さへのこだわり、ものを大切に作る「もったいない」精神などを育み、学校が地域の企業と連携し、ものづくりの楽しさ、すばらしさを感じられる教育の推進に努める。



▲街頭での落書き消し活動

#### 街頭落書き及び街頭貼り付け対策について

質問 落書き等を行わない街づくり、「落書きから落書きへ」による環境美化教育については。

答弁 各地域の方々による落書き消去活動で状況が改善した場所もあり、地域の自主パトロールを支援、道路管理者である都や国と連携した街づくりを目指す。各小中学校では地域清掃等に努め、飯倉片町交差点の地下道は

#### 港区のヒートアイランド対策は

質問 風通しのよい街づくりなど、総合的に施策を推進する必要があるが、どのように進めるのか。

答弁 区では、屋上緑化や高反射塗料工事の助成、路面温度を低減させる保水性舗装を区道に採用。さらに、区内27地点での熱環境の観測調査データを活用し、熱環境対策図を作成、環境に配慮したまちづくりを誘導する。

#### ゴミの減量について

質問 区民の間で他区の可燃ごみを自区の清掃工場に受け入れることに強い不満と反発があると聞いた。23区足並みを揃えた「ごみの減量化」を図れないか。

答弁 区民の協力の下、不燃ごみは大幅な減少となった。今後は廃プラスチックの中間処理の区内実施など事業を展開。廃プラスチック再利用において、他の自治体のモデルとなるようリサイクル事業に取り組む。

#### 男女平等参画施策について

質問 ①男女共同参画社会基本法は、制定10周年を迎えたが、昨年の秋以来の経済不況の中で、

真つ先に職を失うのは女性。行政は女性たちの後押しをする義務があるが区長の考えは。②リブラは区民との協働の象徴的施設である。しかし、現在、男女平等参画のために活動している利用者が問題を感ずる状況もあるが、区長の意見は。

答弁 男女平等参画社会の実現のため、①各種施策に全力的に取り組む。②利用者の意見等を聞きながら、さらなる充実を図る。

#### 今後の高齢者施設の方向性は

質問 認知症の人にとって特別養護老人ホームは決して安らぎの場ではない、少人数で家庭的、単純な家の構造が安らぎを与える。と聖マリアンナ医科大学の長谷川和夫名誉教授より伺ったが、理想であるグループホームのような施設は考えているか。

答弁 南麻布四丁目高齢者保健福祉施設では認知症高齢者グループホームを併設、芝地区にもグループホームの整備を計画。介護度が進んでも、在宅で介護を受けながら住み続けることができる高齢者の住まいについても検討を進める。

廃止を国に求めよ。③75歳以上の医療費無料制度を国に求めよ。

答弁 ①私の従前の認識は変わっていない。②国の制度廃止を含めた具体的な仕組みや日程が明らかになれば、円滑移行に向け取り組む。③考えていない。

#### 特養ホームの新たな建設と待機者に助成を

質問 介護保険制度は、「必要なサービスを自由に選択できる」の約束でスタートしたが、7月末の待機者は464人で約束違反①特別養護老人ホームの早期増設を。②病院や自宅等の待機者に助成を。

答弁 ①高齢者人口や要介護認定者数の推移、高齢者の住まひの整備や在宅サービスの充実、介護予防を推進する中で見定め、慎重に検討する。②考えていない。

#### 生活保護の母子加算・老齢加算の復活を

質問 生活保護の母子家庭、高齢者の人達はギリギリの生活を強いられている。母子加算・老齢加算の復活を国に求めよ。

答弁 復活を要求する考えはない。教育費負担の軽減を

#### 教育費負担の軽減を

質問 「中等教育・高等教育の段階的無償化」を定めた国際人権規約を批准していないのは、日本とマダガスカルだけ。①公立高校の授業料無償、私立校の授業料軽減への助成、②給付型奨学金制度創設を国に求めよ。③区の奨学金制度、卒業者に返還免除を。④奨学金は常時申込可能に。

答弁 ①要望する。②全国都市教育長協議会は、奨学金事業充実を国に要望している。③港区奨学金運営協議会に報告、検討を

お願いしていく。④推移を見守る。

質問 感染防止、最小限化のために、国・都に①正確な情報提供、相談体制の強化。②医療体制の緊急強化。③ワクチンの安全接種体制の早期確立。④公費負担求めよ。区として①流行期を前に、新たな広報実施を。②国保証のない人に、短期証の発行など医療保証を。③区も公費助成を。

答弁 ①情報提供の拡充を働きかけていく。②23区一体で、都に医療体制の強化を働きかけており、国にも要望していく。③国や都に働きかけていく。④国や都は、公費負担を検討している。区は、公費負担の範囲拡大の検討を、国や都に要望していく。区としては①新たに、母子手帳の交付時及び検診の機会等を活用して広報に努めていく。②本年4月から、規定の保険料納付が困難な場合でも、納付意思があり、緊急医療が必要な場合は、事実確認の上、短期被保険者証を交付することとした。新型インフルエンザにも、同様に対応していく。③区としては、国や都の動向をふまえ、役割を検討する。

#### 保育園の待機児童の早期解消を

質問 当議員団の区民アンケートでは、子育て支援に必要な施策のトップが保育所の増設。8月時点の待機児は900人近い。①区民に解消を約束したが、現状への認識は？②新たな認可保育園建設を。③暫定東麻布保育室の継続使用、緊急暫定保育施設の増設図れ。④志田町保育園は改築後も、現在地に継続を。⑤無認可保育園保護者への保育料助成を。⑥認証保育所保育料補助金は区分を細分化し引上げを。

答弁 ①認可保育園の増設は、国の認可枠を待機児童の解消に活用していく。②新たな認可保育園建設は、国の認可枠を待機児童の解消に活用していく。③暫定東麻布保育室の継続使用、緊急暫定保育施設の増設図れ。④志田町保育園は改築後も、現在地に継続を。⑤無認可保育園保護者への保育料助成を。⑥認証保育所保育料補助金は区分を細分化し引上げを。



## 総選挙での国民の審判は明らか 住民本位の区政に転換を

### 共産党議員団

後期高齢者医療制度廃止、75歳以上の医療費無料化求めよ

質問 「必要な制度」「廃止申し入れの考えはない」の区長認識は国民の認識とかけ離れたものであったことは衆院選挙結果で明らか①認識への反省は？②制度

代表・一般質問

答弁 ①区も重要施策として、新暫定緊急保育施設2施設の整備を進め、既設の緊急暫定保育施設の継続使用や認可保育園の分園設置の検討を進める。②暫定保育施設の整備を進め、マンションや商業ビルを利用し認可保育園の分園設置を検討する。③継続使用や増設を検討する。④跡地活用は、白金地域の区有施設整備上の課題解決に活用。⑤考えていない⑥現在、考えていない。

シルバー人材センターの仕事確保を  
質問 区とシルバー人材センターとの契約は前年度比で1億2千万円の減額。指定管理者制度等で区立運動施設や自転車駐輪場の管理、家具転倒防止器具の取付けなどの仕事を奪ってきた。「年金では生活ができない。死活に関わる」「保険料や医療費だけでも稼きたい」など会員の切実な声がある。①シルバー人材センターの仕事確保を。②セ

区とシルバー人材センターとの契約は前年度比で1億2千万円の減額。指定管理者制度等で区立運動施設や自転車駐輪場の管理、家具転倒防止器具の取付けなどの仕事を奪ってきた。「年金では生活ができない。死活に関わる」「保険料や医療費だけでも稼きたい」など会員の切実な声がある。①シルバー人材センターの仕事確保を。②セ

政権交代の影響と区の取組みについて

公明党議員団

質問 大幅な国の政策変更に伴う区への影響について。  
答弁 区への影響を見極め、地方自治体の長として必要な主張を行う。

行政評価制度について

質問 ①区民とともに行う行政評価の仕組みづくりを。②行政評価の結果の政策や施策への反映を。  
答弁 ①区民の視点を取り込み、区政運営に生かすことが重要。

質問 ①区民とともに行う行政評価の仕組みづくりを。②行政評価の結果の政策や施策への反映を。  
答弁 ①区民の視点を取り込み、区政運営に生かすことが重要。

ンター育成のための力量アップや事務局との緊密な連携、支援強化を。③旧柄輪小学校施設の自転車リサイクル、リビングガービス事業は、同校解体後の移転先を早期にその間の仕事確保を。

「都立広尾病院は都立のままで充実を」の願いの実現を  
質問 都は、都立病院への繰出しを削減し、統廃合を進めてきた。区長は、都知事に都立病院統廃合計画を抜本的に再検討し、都立病院の充実・拡充求めよ。  
答弁 都は第二次都立病院改革実行プログラムで平成24年度までは、直接運営を明らかにしている。この期間中に、都立病院の再編整備を進め、患者サービス向上等に努めるとしている。

質問 都は、都立病院への繰出しを削減し、統廃合を進めてきた。区長は、都知事に都立病院統廃合計画を抜本的に再検討し、都立病院の充実・拡充求めよ。  
答弁 都は第二次都立病院改革実行プログラムで平成24年度までは、直接運営を明らかにしている。この期間中に、都立病院の再編整備を進め、患者サービス向上等に努めるとしている。



▲保育園待機児童解消策について

高層住宅居住者と地元町会との交流を深める取組みを検討。③地震発生時には安否を確認し、避難・救出活動等に活用する。

保育園待機児童解消策について  
質問 中長期的視点で具体策を。  
答弁 緊急暫定保育施設の継続使用した民間マンションなどを利用して施設を設置し解消に努める。

子ども・若者育成支援推進法について

質問 健全な青少年の育成と将来の宝であり、担い手である子ども・若者のために、取り組むべき。  
答弁 啓発活動や若者育成支援推進大綱に沿った支援等を行う。

高齢者に対する介護予防の展開・推進について

質問 施設での健康づくりと今後の運動をどう展開するのか。  
答弁 福祉会館で介護予防を展開、総合センターの設置を予定。

福祉分野における地域の人材活用の仕組みについて

質問 高齢者と団塊の世代などが地域福祉に活躍できる仕組みを。  
答弁 地域の様々な活動や身近な課題に取り組む団塊の世代の情

質問 地域の様々な活動や身近な課題に取り組む団塊の世代の情  
答弁 地域の様々な活動や身近な課題に取り組む団塊の世代の情

のネットワークづくりを進める。  
新型インフルエンザ対策について  
質問 ①情報提供や医療体制・ワクチンの供給及び負担軽減の拡大を。②集団感染予防及び関係機関との連携を。③学校での集団感染予防の取組みを。④マスクや消毒薬等の配置について。  
答弁 ①広報みなとや母子手帳の交付時や検診の機会を活用。医療機関の体制整備を進める。ワクチンの円滑な接種及び負担軽減等は国等へ働きかける。②保育園や児童館等の感染予防や利用者への情報提供。関係機関との連絡体制を強化。③幼児・児童・生徒、保護者、学校に対する感染予防の取組みを徹底。④区有施設への配置を対応。

平成22年度予算編成における基本方針について  
質問 財政状況が今後、不透明な中、区民の不安を軽減するには。  
答弁 区民の参画と協働の取組みをより一層定着・発展させ、簡素で効率的な行政運営を徹底。  
区役所・支所改革について  
質問 ①継続した検証や課題の解決に向けた取組みの体制について。②職員の資質向上について。③蓄積された現場の知恵の継承について。  
答弁 ①総合的な調整機能は、企画経営部に区役所改革担当課長に継承。②職員の意識改革、地域の課題を協働で解決できる能力などの研修を実施。③マニュアルの充実及びノウハウの研修。

次世代育成支援対策行動計画の策定について  
質問 ①子育てを取り巻く環境変化の認識について。②計画策定にあたっての方針について。  
答弁 ①年少人口や子育て世帯が著しく増加し、一方で核家族化の進行に伴う子育て家庭の孤立化、急激な経済状況の悪化など。②基本計画などの実施、計画の前倒しや新たな施策展開を検討。

港区緑と水の総合計画について  
質問 ①地球温暖化基金の有効活用は。②湧水保全は。③区民参画による総合計画の改定について。  
答弁 ①屋上緑化や区民協働による地域事業緑化推進に活用。②港区緑と水の総合計画の改定の中で、地下水や湧水の保全を図る。③区民参画の検討委員会など設置し、環境負荷を低減するための緑のあり方など検討。

私道整備事業の助成基準の改定について  
質問 生活道路の歴史的経緯を考慮して改定を図るべきでは。  
答弁 重要な生活道路として、助成基準の緩和を早期に実施する。

学校における地球温暖化対策について  
質問 基本計画の段階から、方針を持ち、具体化するべきでは。  
答弁 基本計画の段階から検討。

質問 基本計画の段階から、方針を持ち、具体化するべきでは。  
答弁 基本計画の段階から検討。

総選挙結果と政権交代、区長はこれからの日本社会をどう考えるか？

みらい

質問 総選挙の結果、新政権が誕生した。今後、官意に基づく政治から民意に基づく政治へ、古い政治との決別が目に見える形で進めるかどうかが試金石。①先の総選挙結果と政権の交代についてどのように考えるか？  
答弁 新政権はまず、新しい家を建てるために古い家を壊す役割を十分に果たすべき。今後あらゆる国民が「新しい家の設計図」を示し、議論を重ね、将来の日本の進路を決めていかねばならない。ちなみに私が考える日本社会の将来像は「家族でちやぶ台を囲んで朝ごはん・夕ごはんが食べられる社会」。②今後、日本の政治・社会はどのような変化が必要と考えるか？  
答弁 変化が必要と考えるか？  
質問 国に依存してきた地方自治体のあり方の再考を求められる新政権の基本姿勢。③「官主導から政治主導」「中央集権から地域主権」の地方政治への影響は。区長は賛同か。自治体はどんな体質転換・構造転換が必要か？  
答弁 ①選挙結果が直接政権交代に結びつくことを国民が実感したことの意味がある。②「一人にやさしい創造的な地域社会」が日本社会のあるべき姿。③政治家が政治を主導するのは当然。地域主権実現は当然の流れ。

ト体制が作れないか。  
答弁 高齢者の在宅生活を支援する体制づくりに取り組み。  
保育園待機児童問題について  
質問 定員拡大が待機児童の増加に追いついていない。順次施設を整備していくことも重要だが、今困っている親にはそれを待っている余裕はない。そこで定員拡大とあわせて、保育ママ制度や社会福祉協議会の育児サポート子むすび、民間のベビーシッターなど、他の制度を、施設不足を補完するものとして、使いやすく早急に整備すべき。  
答弁 保育ママ制度は港区の住宅事情では困難があるが、今後も港区の特性を踏まえた子育て支援策を総合的に推進する。

質問 総選挙の結果、新政権が誕生した。今後、官意に基づく政治から民意に基づく政治へ、古い政治との決別が目に見える形で進めるかどうかが試金石。①先の総選挙結果と政権の交代についてどのように考えるか？  
答弁 新政権はまず、新しい家を建てるために古い家を壊す役割を十分に果たすべき。今後あらゆる国民が「新しい家の設計図」を示し、議論を重ね、将来の日本の進路を決めていかねばならない。ちなみに私が考える日本社会の将来像は「家族でちやぶ台を囲んで朝ごはん・夕ごはんが食べられる社会」。②今後、日本の政治・社会はどのような変化が必要と考えるか？  
答弁 変化が必要と考えるか？  
質問 国に依存してきた地方自治体のあり方の再考を求められる新政権の基本姿勢。③「官主導から政治主導」「中央集権から地域主権」の地方政治への影響は。区長は賛同か。自治体はどんな体質転換・構造転換が必要か？  
答弁 ①選挙結果が直接政権交代に結びつくことを国民が実感したことの意味がある。②「一人にやさしい創造的な地域社会」が日本社会のあるべき姿。③政治家が政治を主導するのは当然。地域主権実現は当然の流れ。

各党派の連絡先

自民党	電話 (3578)2927	フォーラム	電話 (3578) 2938
民進党	FAX (3578)2909	民	FAX (3578) 2949
共産党	電話 (3578)2945	公明党	電話 (3578) 2935
議員	FAX (3578)2947	議員	FAX (3578) 2937
みらい	電話 (3578)2933	不在の場合は区議会事務局 (3578)2911へ	
	FAX (3578)2944		

# 区民のみなさんから 提出された請願



## 採択とした請願

▼障がい者通所施設への助成拡大に関する請願

▼「新橋はつらつ太陽」における通所者の外出および宿泊訓練について、「みなとワークアクトイ」や「工房アミ」と同様に費用の助成をされたい。

▼児童クラブの障害児受け入れ年齢延長に関する請願

▼「要旨」障害のある子どもの成長と、親が安心して子育てが出来る社会を整備するため、児童クラブで障害のある小学4年生以上の児童(中学生を含む)を受け入れられるように、区の条例を早急に改正されたい。また、児童クラブ募集要項に該当する障害児一般登録について、サービス向上に努力、実施されたい。

▼一日外出および宿泊訓練費の補助に関する請願

▼「要旨」港区立の工房アミおよびワークアクトイと民施設設の格差是正のため、「新橋はつらつ太陽」入所者の一日外出および宿泊訓練費の全額補助をされたい。

▼私立幼稚園保護者の教育費負担軽減に関する請願

▼「要旨」私立幼稚園保護者の教育費の負担を軽減し、公立幼稚園の格差を解消するため、平成22年度の助成金の支給、並びに増額をされたい。

## 継続審査とした請願

▼港区芝増上寺周辺の良好な景観と環境を次世代に引き継ぐためと環境保全に関する超高層オフィスビル(仮称)芝公園プロジェクト

エクト)についての請願

▼介護職の待遇改善を求める請願  
▼介護に従事する労働者への待遇改善を求める請願

▼三叉路に信号設置または車両規制をする請願

▼「後期高齢者医療制度実施にもなう区民の負担増に対して軽減策を求める」請願

▼(仮称)「芝浦四丁目計画」に関する請願

▼区民が必要な介護を受けられることを求める請願

▼港区立幼稚園で在園児の兄弟姉妹入園優先枠の設定、地域優先枠の設定に関する請願

▼「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書提出の請願

▼一日も早い待機児の解消を願う請願

▼運河沿い遊歩道の一部迂回を求める請願

## 継続審査とした案件

### 議員提出案件

▼港区における平和行政の推進に関する条例

▼港区子ども的人権オンブズパーソン条例

▼港区高齢者の医療費の助成に関する条例

## 意見書

平成21年度補正予算の適正な執行を求める意見書

港区議会は、政府に対し、不要不急の公共事業を見直すとともに、

各地方自治体の雇用や暮らし、中小企業経営などの緊急経済対策などが円滑に実施されるよう、平成21年度補正予算の適正な執行を図られることを強く求めます。以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。

内閣総理大臣  
国家戦略担当大臣  
総務大臣  
財務大臣  
あて

## 新型コロナウイルス対策の抜本的強化を求める意見書

新型コロナウイルスは多くの人に免疫がなく、一気に広がるのが特徴です。感染を未然に防ぎ、感染した場合でも感染を最小限にするために、あらゆる対策を尽くすことが必要です。

よって、港区議会は、政府等に対し、新型コロナウイルス対策について、下記の内容を強く要望するものです。

### 記

一 国民や医療関係者に、流行の拡がりや病状についての正確な情報提供、相談体制を強化すること。

一 医療体制を緊急に強化すること。とりわけ、医療機関に、新型コロナウイルスの患者用病棟を確保するための財政支援を行うこと。

一 ワクチンを安全に接種できる体制をすみやかに確立すること。特に、透析患者、慢性疾患のある人や妊婦など重症化しやすい人からの接種を急ぐこと。一 ワクチン接種は公費負担とする。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。  
厚生労働大臣  
東京都知事  
あて

# 常任委員会の活動記録

## 総務

●港区総合支所及び部の設置等に関する条例の一部を改正する条例(原案可決)

○主な質疑

①防災危機管理室を部としなかった理由及び有事における指揮命令系統について  
②職員の適正な人員配置について

●平成21年度港区一般会計補正予算(第3号)及び平成21年度港区介護保険会計補正予算(第1号)(2案原案可決)

○主な質疑  
①CO2固定認証制度の目的・事業の仕組み・経費の内訳・周知方法について  
②介護保険給付準備基金の設置の目的と積立金が生じた理由について等

●港区立特別養護老人ホーム白金の森大規模改修の工事請負契約の承認(原案可決)

○主な質疑  
①最低制限価格の設定比率など今後の入札制度の見直しについて  
②工事期間における騒音・振動・塵埃・避難通路等の入居者への影響及び対策について等

●港南三・四丁目地区電線共同溝等整備事業に係る工事等委託契約の承認(原案可決)

○主な質疑  
①工期が長期に亘る理由について  
②財団法人東京都道路整備保全公社の出資金の内訳及び二十三区の出資金の有無について等

●港南小学校ちゅう房機器の購入(原案可決)  
○主な質疑  
①現在と改築後の児童数及び給食

## 保健福祉

●閉会中の委員会における活動  
①特別養護老人ホーム等の指定管理者の公募について  
②平成21年度介護サービス事業者メンタルヘルス相談事業等について

●閉会中の委員会における活動  
①米軍ヘリポート基地に係る地元アンケート調査及び騒音測定調査の実施結果について  
②平成22年度組織改正(案)について等

●閉会中の委員会における活動  
①基礎疾患の証明方法について  
②周知徹底の重要性について等

●閉会中の委員会における活動  
①米軍ヘリポート基地に係る地元アンケート調査及び騒音測定調査の実施結果について  
②平成22年度組織改正(案)について等

●閉会中の委員会における活動  
①特別養護老人ホーム等の指定管理者の公募について  
②平成21年度介護サービス事業者メンタルヘルス相談事業等について

●閉会中の委員会における活動  
①特別養護老人ホーム等の指定管理者の公募について  
②平成21年度介護サービス事業者メンタルヘルス相談事業等について

●閉会中の委員会における活動  
①特別養護老人ホーム等の指定管理者の公募について  
②平成21年度介護サービス事業者メンタルヘルス相談事業等について

●閉会中の委員会における活動  
①特別養護老人ホーム等の指定管理者の公募について  
②平成21年度介護サービス事業者メンタルヘルス相談事業等について

## 交通環境等対策

●閉会中の委員会における活動  
①コミュニティバス(新規5路線)運行事業者の選定について等

## 区民文教

●財団法人港区勤労者サービス公社に対する助成に関する条例を廃止する条例(原案可決)

○主な質疑  
①外部委託となった福利厚生事業のサービスメニューの充実等に対する会員の意見・要望について  
②少額短期保険に加入することができない事業者への対応について等

●閉会中の委員会における活動  
①港区業務継続計画(BCP)の策定について  
②平成22年度区立学校使用教科書について等

# 特別委員会の活動記録

## エレベーター事故対策

●閉会中の委員会における活動  
①主な報告事項  
・シテイハイム竹芝エレベーター事故調査の経緯等及び中間報告書(第3次)について

## 行財政等対策

●閉会中の委員会における活動  
①主な報告事項  
「総合支所中心の組織・執行体制の充実策」について等

## まちづくり子育て等対策

●閉会中の委員会における活動  
①主な報告事項  
港区次世代育成支援対策行動計画の策定方針について等

## 委員会委員の変更

議会運営委員会(10月27日付)  
いのくま正一(共産党)辞任  
風見利男(共産党)選任

# 決算特別委員会

## 各会計決算の概要

会計別	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	1250億3518万9167円	1119億5853万8679円	130億7665万488円
国民健康保険事業会計	196億5102万5327円	184億7750万2280円	11億7352万3047円
老人保健医療会計	13億5785万8739円	13億2366万4890円	3419万3849円
後期高齢者医療会計	34億507万1073円	33億8149万6365円	2357万4708円
介護保険会計	105億168万1886円	101億1113万2061円	3億9054万9825円
総計	1599億5082万6192円	1452億5233万4275円	146億9849万1917円

9月17日の本会議において、全議員34名で構成する「平成20年度決算特別委員会」(林田和雄委員長、水野むねひろ副委員長、阿部浩子副委員長)を設置し、9月29日から10月8日まで審議が行われました。

委員会では、平成20年度各会計(一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計)歳入歳出決算の5案に対する質疑を行った後、各会派が態度を表明しました。

その後、第3回定例会最終日の10月9日、本会議において、決算5案をそれぞれ賛成多数で認定しました。

## 各会派の主な質問・要望事項

### 自民党議員団

【総務費】 情報通信技術と区民サービスについて、全国瞬時警報システムについて、子育て支援プログラムについて、地域防災について(防災住民組織の防災啓発活動と区の協力体制)旧町名由来板の設置について(実績と見直し) 外国への見舞金について(四川省大地震に対する見舞金) 高層住宅の防災対策について(震災対策の基本方針・震災時情報提供等) 朝日地区の防災について(安心・安全な災害対策) これからの町会運営と地域自治について(町会の今後の維持運営、ボランティア団体との連携) 区長答弁と平成22年度予算編成方針について(平成20年度既存事業の見直し、不用額と執行率等) 総合支所の権能・役割のさらなる拡大について(各総合支所の出番と権限・権能拡大の検討) 業務委託等の入札について(入札のあり方、入札参加資格の考え等) 【環境清掃費】 自然保護と地域美化について(基金の活用と自然保護等) 現政権の温暖化対策の影響について 【民生費】 ひとり親家庭就労支援及びホームヘルプサービス事業について、待機児童解消の具体策について(待機家庭のニーズ調査) 子育てひろばの充実について、生活保護費の

代理納付について、介護事業者のネットワークとインフルエンザ対策について(職員・利用者が罹患した場合) 介護サービスの人材確保について、保育園の整備について、少子化対策について(子育て支援事業・待機児童解消の推進) 民生児童委員の選挙への関わり方について(社会的立場づけ・影響力) 学童クラブでの増設への緊急対応) 障害者グループホームの整備について(今後の整備の見直しと予定) 【衛生費】 ペットのマナー啓発と地域ルールづくりについて、路上弁当販売について(許可制度の実態・高家賃で営業している店舗への影響) 歯科保健について(成人歯科健診事業・乳幼児歯科保健) 口腔がんについて 【産業経済費】 コミュニティ・ビジネスの支援について、老舗・お薦めの店一〇〇選等のフィードバックについて、ワーク・ライフ・バランスについて(子育て支援の観点) 港区デザイン資源活用推進計画について、政権交代による産業界の失速懸念について(補正予算の執行停止の影響・中小企業の現状) 商店街変身戦略プログラムについて(芝浦・海岸地区の基盤整備の充実と区の支援) 商店街の現状について(まちづくり3法と商店街振興・商店街と生協) 【土木費】 公園・児童遊園

### フォーラム民主

【総務費】 ①危機管理対策及び国民保護対策について ②シティハイツ竹芝エレベーター事故調査について ③麻布地区の生活安全関連事業について ④現行の男女平等参画行動計画の具体的成果は ⑤職員の新規採用状況と働きぶりは ⑥計画的な人材育成の具体的な取組みは 【環境清掃費】 ①資源プラスチック分別収集の区民への周知は ②他自治体のプラスチック可燃ゴミを、港区清掃工場で受け入れている実態について ③港区での生ごみ対策事業は ④リユース食器利用の拡大について ⑤多様な生物が生息できる運河への取組みは 【民生費】 ①子育て支援について ②保育園待機児童について ③性犯罪被害者に対する支援は ④保育所入所基準の弾力的な運用及び今後の改正は 【衛生費】 ①うつ病に対する取組みは ②メタボ対策について ③インフルエンザ予防接種助成について 【産業経済費】 ①産業クラスター活動支援について ②旧南海小学校用地にあったインキュベーション施設について ③中小企業を振興するNPO法人の活用は 【土木費】 ①公衆トイレでの手洗い石

嶮、消毒液の設置は ②三田警察署跡地での駐輪場設置について ③新設街路灯の街頭貼り紙対策塗装について ④運河沿いの個別建替えにおける景観に配慮した指導・誘導は ⑤運河沿いの遊歩道の維持管理について 【教育費】 ①文化財の種類と件数は ②港郷土資料館の学校教育での利用と問題点は ③子育てサポート保育の現状と充実は ④拉致問題啓発映画「めぐみ」の上映について ⑤朝鮮学校保護者補助金への検証は ⑥区立図書館と学校図書館の連携は ⑦学校法律相談について 【総括質問】 ①新政権への期待は ②組織改革について ③時代の変化に伴う新基本構想の策定について ④基本計画の前倒しや新施策 ⑤旧赤坂図書館の跡地について ⑥特別養護老人ホームの整備計画は ⑦高齢者見守り事業の実施主体、継続性、安全性は ⑧待機児童の解消について ⑨商店街振興プログラムの実情は ⑩産業振興支援体制の強化について ⑪各地区版基本計画の実情、進捗管理、参画及び協働は。

### みらい

- 20年度の基金残高は1411億円、財政余剰は219億円。この10年にわたりほぼ貫して毎年度100億円以上の余剰を生んでいる極めて豊かな財政状況下、区役所の仕事を過度に膨らませないための行政改革を推進すべきとの立場で審議に臨んだ。
- 区役所幹部職員の外郭団体への再就職の慣行は改めるべき。また、退職後の民間への再就職動向を把握すべき。
- 新たな行政改革の大方針を策定すべき。
- 外部者の視点による区役所の仕事総点検(事業仕分け)を公開で行うべき。
- 多額の経費がかかるプラスチックリサイクルにもコストの視点を。
- 家庭での子育てをもっと評価すべき。
- 生活環境によって大きな差がある子ども一人に対する公費負担の現状を調査し、公平に近づきよう政策転換すべき。
- 待機児童解消には、幼稚園の活用、港区独自基準による民間参入・誘致促進等、施設建設の前に政治決断でできることに積極的に取り組むべき。
- 刊行物の二元管理による無駄の排除。

の緑化について(取組みの現状) 区立公園の禁止事項について(過剰な禁止・芝生の占める割合・芝生保護とハイヒール等の芝生立入禁止) コミュニティバスについて(子ども料金の無料化等の調査・設定) 木造住宅の耐震化対策について(進め方とリフォーム促進策) 二世帯住宅の促進について、景観計画と有栖川宮記念公園について(景観重要公共施設・公園の塀の整備等) 【教育費】 子どもの個性・地域の特性を活かす教育について、小中一貫教育と奨学資金の貸付について、運動場の景観について(観賞用植木の占める面積と必要性) 文科省より送付された「天皇陛下御即位から二十年」DVDについて(通達のとおり各学校に配布・上映の要請をしたのか意義や主旨の伝え方) 小学校体験事業について(補助金交付のあり方と仕組み) 青南小学校第二校庭について(教育費での購入と活用方針) 中学校生徒の他校行事見学等について(他校行事見学を禁止する意図) 魅力ある学校教育の推進について、朝のあいさつ運動について(実態と効用) 中学校の教科書採択について(歴史教科書問題と二年後の教科書採択への課題) 【介護保険会計】 介護報酬の平成21年度改正について(介護従事者の人材確保と処遇改善、認知症ケアの推進等、改正主旨と保険者の役割)

# 平成20年度



## 監査委員の審査意見(要旨)

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、61.1%であり健全財政を維持している。一般会計、4特別会計についても適切に運営されたものと認められる。

執行状況では、基金残高は増加しているが、予算執行率は90%と低く、不用額も増えている。予算の積算、執行管理の適正化に努められたい。

昨年の金融危機の影響で、経済や雇用環境は厳しい状況にあるが区民税収入等の動向を見極めながら、長期的な展望にたつた財政運営を期待する。

また、商店街の活性化や新型インフルエンザ対策、地球温暖化対策、待機児童の解消等、区民の貴重な財産を最大限に活用して、区民福祉の向上に努められることも併せて期待する。

## 各会派の主な質問・要望事項

### 共産党議員団

★豊かな財政を区民のために★高度累進課税に戻せ★防災無線を聞こえるように★高層住宅の備蓄倉庫・備蓄品への助成を★融資が受けられない企業の救済措置を★無利子融資制度の創設を★宅配サービスの実施を★消費者相談の体制強化を★待機児童解消のため保育園建設を★3人乗り自転車のレンタルを★シルバー人材センターへの仕事確保を★障害児の児童館の相談体制の改善を★障害者自立支援法の廃止を★精神障害者にも心身障害者福祉手当の支給を★社会福祉協議会の貸付制度の改善を★車イス貸出は無料に★特養ホームの建設計画を★おむつを64歳以下の要介護者に支給を★長寿を祝う集い未参加者に区内商品券を★障害児の放課後・長期休暇の受入れ対策を★要介護認定調査が実態にあつてるか調査を★国民健康保険の減免制度拡大を★利用者にあつた配食サービスを★後期高齢者医療制度の廃止を国に求めよ★新型インフルエンザ対策として資格証明書世帯に短期証交付を★新型インフルエンザ公費負担の拡大を

★子どもの季節性インフルエンザ接種を無料に★ヒブワクチン接種の公費助成を★妊婦検診助成額の拡大を★自然エネルギーの活用を★緑のカーテン事業の普及を★アークヒルズ・成田間のヘリ運行は納得のいく説明求めよ★高齢者や障害者世帯のゴミの戸別訪問収集増を★指定喫煙コーナーを改善せよ★私道整備自己負担解消を★都立芝公園の小川の復活を★都立芝公園の区移管を求めよ★区立・特公賃住宅に新たな減免制度を設けること★シンドラー社に損害賠償請求せよ★ちいばすのバリアフリー化を★絶対高さ制限設定を★森ビルなどへの再開発補助金支出を中止せよ★就学援助にめがね代助成を★麻布グラウンドの抜本的改修を★少人数学級実施を都に求めよ★都立芝公園運動場を区に移管を★東京海洋大学グラウンドの地域開放を★新郷土資料館の早期建設を★高校授業料の無料化、給付型奨学金制度を国・都に求めよ★区の奨学金制度は卒業時返還免除を★全小中学校の校庭の天然芝生化計画を

### 公明党議員団

(歳入)  
①予算現額と収入済額の比較。②執行率低下と不用額の増加。③来年度予算編成方針における取組み。④国の制度改正に伴う区への影響。

#### (総務費)

①新型インフルエンザ対策。②高層住宅における震災対策の実態調査と備蓄倉庫の整備、ならびにDVDの配布方法とCATVの活用。③高層住宅等階段避難車の導入。④災害時要援護者の安否確認マニュアルの策定。⑤二次避難誘導訓練。⑥通報サービスシステム。⑦外国人の訓練参加と誘導方法。⑧住宅用火災警報機。⑨公会計改革。

#### (環境清掃費)

①分担金と負担金。②電気自動車の充電スタンドの設置。③携帯電話リサイクルの回収。

#### (民生費)

①障害者への各相談窓口と日中一時支援事業。②障害児の児童館体制の整備。③医療的ケアの必要な障害児の子育てひろば。④路上生活者対

### 策。

(衛生費)  
①薬事法の改正。②子宮頸がん予防。③周産期医療連携。④AEDの保守点検。⑤狂犬病対策。

#### (産業経済費)

①空き店舗の活用。②地域コミュニティの拠点づくり。③空き店舗の活用・マッチングの促進。④雇用対策。⑤エコポイントによる商店街や地域活性化。

#### (土木費)

①区民向け住宅の家賃滞納策。②港区景観計画。③自転車等駐車場のサービス向上。④LEDの街路灯の設置。⑤ゲリラ豪雨の浸水被害の原因。⑥白金四の橋通りの雨水浸透施設設置の効果と周知徹底。⑦品川駅高輪口のまちづくりの情報提供や計画説明と検討会の経過報告。⑧どんぐり児童遊園「じゃぶじゃぶ池」のレジオネラ菌対策。

#### (教育費)

①モンスターペアレント対策。②緊急連絡網。③障がいのある中学生の部活動。

## 平成20年度 各会派の態度表明

### 自民党議員団

港区の将来に向けて安定した区民サービスをいながら、さらに積極的に先駆的施策に取り組むためにも、今後財政基盤の確立に努めていただくことを要望します。決算特別委員会での審議を通じて、我が会派から出された意見並びに要望等が、平成22年度予算に反映されることを期待して、議案5案につきましては、いずれも認定します。

### フォーラム民主

今回の我が会派の意見、要望を、政策の糧として頂くことを期待し、議案第78号平成20年度港区一般会計歳入歳出決算、議案第79号平成20年度港区国民健康保険事業会計歳入歳出決算、議案第80号平成20年度港区老人保健医療会計歳入歳出決算、議案第81号平成20年度港区後期高齢者医療会計歳入歳出決算、議案第82号平成20年度港区介護保険会計歳入歳出決算を認定します。

### 共産党議員団

自民、公明政権が退場となり、区政も、暮らし最優先へ転換せよと提案してきた。しかし、区は、保育園待機児ゼロへの計画もなく、「後期高齢者医療制度は必要、廃止は求めない」との姿勢を続け、30人学級実施を都に要求しないなど、区民の暮らし福祉に冷たい姿勢をとり続けている。一方、森ビルなどの再開発に今後8年間で280億円の補助金を出す計画。決算5案は認定しない。

### 公明党議員団

公明党議員団を代表して、平成20年度決算5案について態度表明をいたします。決算審議の中で我が会派より述べました意見、要望、提案、指摘につきまして、来年度、平成22年度予算に十二分に反映されることを強く要望いたしまして、平成20年度決算5案につきましては、いずれも認定をいたします。

### みらい

決算5案は認定した。その上で、①多額の財政余剰が続く中、既存事業・計画事業の必要性や効果測定を行う新たな行政改革に早急に取り組むこと、②子育てをはじめ至急を要する施策・事業展開を促進するため、区長が方向性を明確に指し示し、区民の前に明らかにすること、③みらいの指摘・要望を真摯に受け止め区政に反映させること、を強く求めた。

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

議案番号	案件名	自民党議員団	フォーラム民主	共産党議員団	公明党議員団	みらい	議決結果
議案第72号	港区総合支所及び部の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号	財団法人港区勤労者サービス公社に対する助成に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第74号	港区立児童遊園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第75号	港区立公共駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第76号	平成21年度港区一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第77号	平成21年度港区介護保険会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第78号	平成20年度港区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	認定
議案第79号	平成20年度港区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	認定
議案第80号	平成20年度港区老人保健医療会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	認定
議案第81号	平成20年度港区後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	認定
議案第82号	平成20年度港区介護保険会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	認定
議案第83号	工事請負契約の承認について(港区立特別養護老人ホーム白金の森大規模改修工事)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第84号	工事等委託契約の承認について(港南三・四丁目地区電線共同溝等整備事業に係る工事)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第85号	物品の購入について(港南小学校ちゅう房機器)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第86号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第87号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第88号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第89号	平成21年度港区一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	原案可決
請願21第4号	障がい者通所施設への助成拡大に関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願21第7号	学童クラブの障害児受け入れ年齢延長に関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願21第8号	一日外出および宿泊訓練費の補助に関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願21第10号	私立幼稚園保護者の教育費負担軽減に関する請願	○	○	○	○	○	採択
発案21第11号	平成21年度補正予算の適正な執行を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
発案21第12号	新型インフルエンザ対策の抜本的強化を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決

本会議録(代表・一般質問)の録画映像を見てください。

港区議会では、インターネットで、本会議の録画映像を配信しています。録画映像は、平成21年第2回定例会の代表・一般質問分から配信しており、平成21年第3回定例会の代表・一般質問の映像も配信しています。ホームページの画面の操作手順は次のとおりです。

- ①港区議会ホームページにアクセスし、画面の右下にある、「港区議会インターネット録画中継」の文字をクリックします



- ②会議を検索する画面が出てきます



また、ホームページでは、区議会の役割や、『請願・陳情』の書き方・提出方法、会議の傍聴手順なども掲載しています。

区議会だよりのバックナンバー、会議録(各定例会の本会議、議会運営委員会、予算・決算特別委員会、4常任委員会、4特別委員会)の閲覧・検索もできます。

お子様向けには、ジュニア版も掲載していますので、みなさんそろってクリック!!

\*区議会のアドレス<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

**会議録の案内**  
**検索システム**  
 代表・一般質問の全文をご覧になりたい方は、港区議会ホームページをご覧ください。現在、平成21年第2回定例会・第1回臨時会の会議録まで掲載しています。第3回定例会は11月下旬頃にホームページに掲載する予定です。なお、区議会事務局、区役所3階区政資料室、図書館でも閲覧できます。

**一時保育のおしらせ**  
 保護者の方が会議を傍聴している間、区議会で、就学前のお子さんをお預かりします。傍聴しようとする会議の開催3日前(土日、祝祭日を除きます)までに、区議会事務局へ電話等でお申し込みください。なお、会議の開催予定については区議会ホームページ、ポスター等ご案内いたします。

【申し込み・問い合わせ先】  
 区議会事務局調査係  
 3578-2921

副議長 達下 マサ子  
 水野 むねひろ・熊田 ちづ子  
 近藤 まさ子・山本 閉留巳  
 小齊 太郎

区議会だより編集委員

▼第4回定例会は11月下旬に開会する予定です。

あとがき

3578-2921

【申し込み・問い合わせ先】

区議会事務局調査係

◆「点字区議会だより」(声の区議会だより)も発行していますので、ご利用ください。

◆戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡下さい。

◆新聞を購読していない人のために、区の主な施設の窓口にもおいてあります。

◆赤坂・広尾・神谷町・白金台・六本木(丁目)などに置いてあります。

◆東京メトロ7駅(表参道・乃木坂・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、郵便局(赤坂・ツ木通・麻布・芝)

◆この「区議会だより」は、新聞(朝日・毎日・読売・日本経済・産経・東京に折り込んでいます。また、郵便局(赤坂・ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、東京メトロ7駅(表参道・乃木坂・赤坂・広尾・神谷町・白金台・六本木(丁目)などに置いてあります。

◆「申し込み・問い合わせ先」

区議会事務局調査係

3578-2921

▼フィリピンを襲った台風の豪雨災害により、不幸にして犠牲となられた方々のご冥福と、被災地の一刻も早い復興をお祈りし、区議会は10月7日、区長とともにフィリピン大使館へお見舞金をお届けしました。

左からジナ A.ハモラリン公使兼領事、島田幸雄議長

【申し込み・問い合わせ先】

区議会事務局調査係

3578-2921

◆この「区議会だより」は、新聞(朝日・毎日・読売・日本経済・産経・東京に折り込んでいます。また、郵便局(赤坂・ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、東京メトロ7駅(表参道・乃木坂・赤坂・広尾・神谷町・白金台・六本木(丁目)などに置いてあります。

◆「申し込み・問い合わせ先」

区議会事務局調査係

3578-2921

▼フィリピンを襲った台風の豪雨災害により、不幸にして犠牲となられた方々のご冥福と、被災地の一刻も早い復興をお祈りし、区議会は10月7日、区長とともにフィリピン大使館へお見舞金をお届けしました。

左からジナ A.ハモラリン公使兼領事、島田幸雄議長

【申し込み・問い合わせ先】

区議会事務局調査係

3578-2921

◆この「区議会だより」は、新聞(朝日・毎日・読売・日本経済・産経・東京に折り込んでいます。また、郵便局(赤坂・ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、東京メトロ7駅(表参道・乃木坂・赤坂・広尾・神谷町・白金台・六本木(丁目)などに置いてあります。

◆「申し込み・問い合わせ先」

区議会事務局調査係

3578-2921

▼フィリピンを襲った台風の豪雨災害により、不幸にして犠牲となられた方々のご冥福と、被災地の一刻も早い復興をお祈りし、区議会は10月7日、区長とともにフィリピン大使館へお見舞金をお届けしました。

左からジナ A.ハモラリン公使兼領事、島田幸雄議長

【申し込み・問い合わせ先】

区議会事務局調査係

3578-2921